

# 辻 音楽師 の美学

令和元年  
9/21(土)  
～  
10/20(日)

太宰治生誕110年特別展

会場：三鷹市美術ギャラリー

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-35-1 CORAL 5階  
(観覧時間)午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)  
(休館日)9月24日、25日、30日、10月7日、15日、16日

主催：三鷹市、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

協力：田村茂写真事務所、実践女子大学、日本近代文学館  
三鷹CORAL、三鷹商工会  
特定非営利活動法人みたか都市観光協会

観覧料：500円

※「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」、中学生以下  
障害者手帳をお持ちの方とその介助者は無料

監修：安藤 宏(東京大学教授)



# 昨年の没後70年に続き、太宰治の生誕110年を記念して、特別展を開催します。

日本近代文学を代表する作家として、今や世界的な人気を誇る太宰治（本名・津島修治）。

明治42（1909）年6月19日に青森県北津軽郡金木村（現五所川原市金木町）に生れ、昭和14（1939）年9月から昭和23（1948）年6月に亡くなるまでの、疎開期間を除いた約7年半を〈三鷹村（町）下連雀一一三〉で暮らしました。生涯で150にも及ぶ作品の大半が自宅の書斎や駅周辺の仕事部屋で書かれています。三鷹が舞台になった作品も多く、太宰にとって三鷹が、家庭人として妻子と過ごした地であると同時に、作家として必要不可欠な創作の地であったことを物語っています。

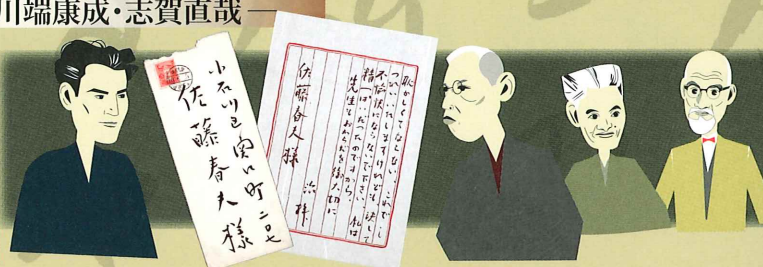
## 《展示構成》

### ■ 三鷹市新寄託資料 — 山内祥史文庫 —

太宰治研究において、精度の高い文献学的研究を推し進めた山内祥史（1932-2017）が蒐集した資料を初公開します。太宰の著作、同人誌、執筆に用いた原典をはじめとする資料を一堂に展示し、山内祥史が生涯をかけてその研究と功績を紹介します。

### ■ 太宰史に刻まれた文豪との日々 — 佐藤春夫・川端康成・志賀直哉 —

近年注目を集めている文豪たちとの関係性と、太宰治を語る上で重要視されるいくつかの出来事をもとに、自らを〈辻音楽師〉と称した太宰の信念とその生きざまに迫ります。



### ■ 在りし日の太宰治 — 田村茂と太宰と三鷹 —

三鷹ゆかりの写真家で太宰治と交友のあった写真家・田村茂が、太宰が亡くなる数か月前に三鷹で撮影した「太宰治」全作品を展示し、「太宰が生きたまち 三鷹」の記憶を呼び起こします。また、太宰と同じく戦後社会への疑念を投げかけながら生涯現役を貫いた田村の未発表作品を初公開します。

## 《関連イベント》

三鷹ネットワーク大学共催講座

太宰治生誕110年特別展 辻音楽師の美学 関連記念講演会

背景：佐藤春夫宛書簡  
昭和11年1月28日  
提供：実践女子大学

### ■ 太宰史に刻まれた文豪との日々 — 佐藤春夫・川端康成・志賀直哉 —

作品だけにとどまらない、太宰治という人物そのものの特異な魅力について、展示資料を元に本展のみどころを紹介します。

【講師】 安藤 宏（本展監修、東京大学教授）

【日時】 10月5日（土）午後2時～3時30分（開場は午後1時30分）

【共催】 特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構

【会場】 三鷹ネットワーク大学

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階 ☎：0422-40-0313

【定員】 100名（応募者多数の場合は抽選）

【参加条件】 受付時に本展観覧券（すでに観覧された方は使用済み半券で可）をご提示いただきます（お持ちでない方は当日受付にて購入可）。

【申込方法】 往復はがきに、氏名、住所、電話番号、返信用はがきに宛先をご記入の上、

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-12-27

三鷹市山本有三記念館「太宰治生誕110年 記念講演会」係まで。

9月26日（木）必着。はがき1枚につき1名様、お1名様1応募限り。

【問合せ先】 三鷹市山本有三記念館 ☎：0422-42-6233

## 三鷹市美術ギャラリー

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-35-1 CORAL 5階 ☎：0422-79-0033

● JR中央線三鷹駅南口デッキを直進し CORAL 2階入口からお入りください。

● 駐車場はCORAL 地下駐車場（30分200円）をご利用ください。

駐輪場はCORAL 駐車場の入口横のスロープを上がり2階です。

《講演会場》三鷹ネットワーク大学 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3  
三鷹駅前協同ビル3階 ☎：0422-40-0313

